

平成19年度第2回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時, 会場

- 平成19年10月22日(月) 18:30~20:00
- 宇品老人いこいの家 3階会議室(南区宇品御幸四丁目)

2 出席者

- 会長他11名出席(4名欠席)

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

- 平成19年度第1回協議会の議事概要の確認
- 出島地区港湾整備事業環境監視結果(工事着手後)及び周辺環境の事前調査結果(平成19年5,7月調査)の報告
 - ・工事中の環境監視結果では、いずれの項目も監視基準に適合している。
 - ・周辺環境事前調査結果では、過去の調査結果と同程度であり特に異常はない。
- 要望書に係る回答
 - ・揚陸施設の粉じん飛散防止対策については、廃棄物運搬船及び廃棄物投入船の廃棄物格納槽に密着できる可動式巻上げシートを設置し、積替作業中に廃棄物の落下により飛散が生じる可能性のある部分については、粉じんを集塵する集塵口を設けて集塵処理装置で処理することにより、粉じんの飛散防止を徹底する。
 - ・事業開始後は粉じんについて、事業計画地背後と元宇品代表点の2地点において、事後調査を実施し、この調査結果により環境への影響が生じると認められる場合には、原因を調査し、適切な措置を講じる。
 - ・廃棄物の受入管理については、具体的な受入管理マニュアルを五日市の積出施設の具体的な整備内容を踏まえて作成する予定である。
 - ・余水処理汚泥については、廃棄物処理法に基づく有害物質の基準に適合していることを確認して、処分場内に埋立処分する。
 - ・余水処理汚泥の検査結果が基準に適合しないことは想定していないが、万一、基準に適合していない場合には、特別管理産業廃棄物として、適正に処理できる民間業者へ委託して処理する。
 - ・処分場内の管理水位については、埋立高さが-2m程度になれば、水位を+2mまで下げても構造上安定であると見込まれるが、廃棄物投入船により廃棄物を+3mまで水中にて埋め立てる必要があることから、概ね埋立初期は+3m、埋立中期は+2m、埋立後期は+3m、埋立終了後は+2mを目安とした水位管理が可能と考えられる。
 - ・しかしながら、護岸の安定化は、廃棄物の埋立状況等に影響されるため、埋立開始後、その状況を踏まえ、構造上支障のない範囲で低い水位での管理に努める。
 - ・大雨時には、処分場内に余水を貯留することによって、可能な限り処理水の公共下水道への放流量の抑制に努める。

○その他

- ・9月から11月の工事内容については、ケーソン4函の製作、余水処理施設用地東側護岸のブロック据付工、ケーソン据付部分の遮水工を実施する。
- ・ベイサイドマンションには、毎月の工事月報により詳細な工程を提示している。
- ・平成19年7月17日、磁気探査業務の潜水探査中に広島市南区出島二丁目地先の海底で砲弾3発が発見されたが、海上自衛隊により無事撤去された。
- ・余水処理施設の設置位置、基礎構造などの設計に必要な地質調査を10月25日から11月15日にかけて実施する。
- ・地質調査については、海上からスパット式台船によるボーリング調査を3箇所で行う。
- ・現在発注している遮水工3件のうち2件で共同企業体の代表となっているみらい建設工業が、9月27日に民事再生の申立を行ったことに伴い、みらい建設工業の共同企業体に係る工事については、一部中断を余儀なくされ、結果的に約3週間近く工事が遅れた。
- ・当初の予定工期内に完成させるよう、工程の見直しを検討している。
- ・工法の見直しも考えているが、これは容易ではないため、日曜日の作業を視野に入れて検討させていただきたい。これについては、できるだけ回数も少なく騒音も出ない方法を考えたい。
- ・現在、早急に対応方針を検討しており、案がまとまれば速やかに委員の皆様と相談とお願いに参りたいと考えている。年度内に予定どおり工事を終わらせるために御協力をお願いしたい。

○次回協議会の開催の調整

- ・次回の協議会は1月頃開催予定で、後日日程調整を行う。

(2) 発言要旨

○平成19年度第1回協議会の議事概要の確認

- ・五日市の積出施設の進捗状況については、現在、地元地区代表者の方に事業概要を説明し、今後の対応について調整しているところであり、今後とも引き続き事業への理解を得るように調整を行って参りたい。

○要望書に係る回答

- ・廃棄物投入船で廃棄物を投入する際、粉じんが生じるのではないかと。
 - 廃棄物は水中で薄層散布するため、粉じんの飛散の恐れはないと考えている。
- ・潮の干満によって遮水シートにかかる力のバランスが崩れることはあるのか。
 - 伊勢湾台風級の台風が広島港に一番影響を与えるコースを通った場合の高潮時の設計潮位で検討しており、潮の干満による潮位はそれ以下であるため、遮水シートの安定性は保たれており大丈夫である。
- ・遮水シートの耐久性は潮の干満の繰り返しにも対応できるよう考慮されているのか。
 - 耐久性については問題ない。

- ・廃棄物運搬船を囲っているシートは、揚陸施設の建屋の屋根から密閉された状況で下りてくるのか。
 - 揚陸施設の建屋の床面に直接密着する形でシートが下りている。
- ・揚陸施設のシートの素材は何か。
 - シートの素材については、耐久性を備え、密閉性が保てる素材を、今後、詳細設計の中で決定する。
- ・以前の計画では揚陸施設には集塵処理装置はなかったと思うが、集塵処理装置を新たに設置するのか。
 - 集塵処理装置は設置する。
- ・集塵処理装置の騒音による影響が生じないように検討してもらいたい。
- ・揚陸施設の詳細設計が進んだ段階でもう一度説明してもらいたい。
- ・埋立が進むにつれて余水処理汚泥の中の有害物質の濃度が高くなっていくことはないのか。
 - 五日市処分場でも余水処理を行っているが、汚泥はほとんど発生していない状況である。五日市処分場の実績から、汚泥はほとんど発生することはなく、それほど高い濃度に濃縮が繰り返されることはないと考えている。
- ・廃棄物運搬船をシートで囲っていても、クレーンで積替える時にシートに廃棄物が付着して、運搬船がいなくなったときに付着物が海に落ちるのではないかと懸念されるが、運搬船が停船している時にシートをきれいに洗い流すなどの措置は考えられないか。
 - 御指摘を踏まえてさらに検討を続ける。

○その他

- ・工事だよりに広島市が定期的実施している検査の予定日を記載してもらいたい。
 - 掲載方法について検討する。

4 会議資料の資料名一覧

- ・会議次第
- ・平成19年度第1回出島処分場事業連絡調整協議会の概要
- ・出島地区港湾整備事業環境監視結果の概要
- ・周辺環境の事前調査結果について
- ・出島地区廃棄物処分場事業計画について
- ・出島地区廃棄物処分場工事だより
- ・出島地区廃棄物処分場の磁気探査業務における砲弾の処理について
- ・余水処理施設用地内ボーリング調査について

※ 担当事務局

広島県環境部環境対策局産業廃棄物対策室
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)